

第 61 回温泉保護・管理研修会報告

2022年10月25日から26日の2日間にかけて第61回温泉保護・管理研修会を北とぴあ(東京都北区)で開催しました。今年の研修会は、温泉の行政、文化、観光、医学、法学、化学、資源管理などの多岐にわたっており、当研究所の職員3名の他に8名の先生方にご講演をいただきました。温泉事業や温泉行政に関わる多くの方々にご参加いただき、今後の温泉利用への関心と期待の大きさを感しました。同日は、体温測定、広めの会場で距離を保つなどの感染症対策を施して行われましたが、今回は3年ぶりの対面での開催ということもあり、研究所内の参加者とも合わせて会場はにぎわい、成功裏に終わりました。

今年の研修会における話題としては、コロナ禍からの脱却、新たな温泉活用、環境問題への取り組み、文化や資源保護等があげられます。温泉の利用を持続可能なものとしてゆくには、常日頃から意識し行動していく必要があります。そのためには関係者が一丸となつてとりくむ必要性をあらためて感じた次第です。

ご参加いただきました皆様にあらためて御礼申し上げます。来年も開催を予定しておりますので今後ともよろしくお願いたします。

(大塚晃弘)

会場内の様子



会場から質問等が活発に行われました



感染症対策で広めの会場で開催しました



配布用テキストです、分厚いです



事務局です、来年もお待ちしております